

## 1人ひとりが避難の手順を決めるプロジェクト 事例集

【市町村名、地区名】瑞穂市南小学校区	
【名称】瑞穂市南小学校区タウンミーティング 「自治会の人達が全員無事に避難するためには」	
【日時】令和元年8月10日（土）14:00～16:00（2時間）	
【場所】瑞穂市役所 巣南公民館	
【対象者】瑞穂市南小学校区の住民	【人数】32名
<p>【取組みのきっかけ】</p> <p>瑞穂市では、まちづくりの一環として平成30年度からタウンミーティングを実施している。風水害についての対策はこれまで自治会でも取り組んでいたため、より多くの種類の災害について考えておきたいという地域住民からの要望により地震災害をテーマに取り組むこととなった。</p>	
<p>【実施までの運び】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主催者 瑞穂市</li> <li>○活用した機会 多くの住民が参加し、地域について考える「まちづくりタウンミーティング」の機会を活用して取組みを実施。</li> <li>○周知・案内 市広報に掲載、案内文書を回覧版で各家庭に配布。</li> <li>○事前準備 会場準備：説明用パワーポイント、 南小校区白地図（A1、各テーブル1枚）、付箋紙、サインペン、お菓子 配布資料：次第、地震から身を守る方法や備え等のパワーポイント資料、アンケート用紙、 災害・避難カード（A3版） ※災害・避難カードは県様式をもとに市にて地震版アレンジして作成。</li> <li>○当日のスタッフ 進行役 1名（防災担当1名） 補助役17名（防災担当3名、福祉等関係部署6名、コミュニティ診断士8名）</li> <li>○その他 各テーブルにグループワークの補助として、市関係部署の職員とコミュニティ診断士の方を1名以上配置し、進行や発言内容の記録を行った。</li> </ul>	

**【実施内容】**

市長あいさつ（10分）

タウンミーティングの概要説明（5分）

災害に備えるために今、何をすべきかの講話（15分）

- ・瑞穂市における地震について
- ・指定避難所について
- ・防災備蓄品について

ワークショップ（90分）



### 【取組みの状況（ワークショップ）】

- 地震発生後の避難行動について、何を持ち、何処へ、誰と避難するかなどを考え、災害・避難カードに個人ごとの結果を書き込む。結果をグループで話し合う。



- 自宅から避難場所までの経路にある危険箇所等をマップに落とし込む。その後、各グループが避難時の注意点や避難経路における危険箇所等の気づきを発表する。



### 【今後の展開】

- 災害・避難カード作成と避難所確認訓練を組み合わせ、避難の経路や備蓄品の確認を行う。
- ※避難所確認訓練…自宅からの避難経路を実際に歩き、避難所の場所や経路を確認する訓練。